

睡眠時間なしでの乗務は危険だ！ 安全確保のため 会社はルールを決めて対応せよ！

岡崎街道踏切レール亀裂による輸送障害対し業務委員会を開催！

6月27日22:39頃発生した岡崎街道踏切レール亀裂により大きな輸送障害が発生しました。それにより、2706F豊橋到着は5:00、380Fは大府到着3:00、376Fは岡崎に到着できず刈谷にて折り返しとなり、乗務員は休憩なし、睡眠なしで徹夜を余儀なくされてしまいました。組合として、安全の根幹であるレール・信号に関わる今回事象の再発防止はもちろん、乗務員運用についても検証が必要であると考え、以下の通り議論を行いました。

夜間の異常時だからこそ、休憩・睡眠が大切だ！

私たちの問題提起に会社回答は、「夜間の異常時であり、通常時よりも長時間勤務となった社員がいた事は認識している。引き続き適宜適切に対応していく。」「通常時よりも睡眠時間の確保が困難であったと承知している。引き続き適宜適切に対応していく。」というものです。いずれも、問題について把握していると言うのです。では、どう対応するかというと、「適宜適切に対応していく。」と言います。

「適宜」「適切」とはどういうことか？

「適宜」とは、「その時その場に具合良く適するように行うさま。」が語彙となります。

「適切」とは、「目的などにぴったり当てはまること。」「その場や物事にふさわしいこと。」と言うことです。

なるほど、その時その場に具合良く適するよう、目的などにぴったり当てはまることを行うわけですが、そんなことでできますか？対応した個人の力量や判断に左右されていませんか？行き当たりばったりで、成り行きに任せていませんか？

常に「適宜・適切」をめざして対応を行っているのは誰か？ 現場です！

そこには一定のルールが必要です！

異常時の現場では大変な状態です。その中で乗務員運用を変更すると代わりを準備しなければならない。下手をすると穴が空いてしまう。非常に判断が要ることです。しかし、変更しないと乗務員は睡眠時間なしに、そのまま乗務し続けるという非常に危険な状態になります。判断を現場任せにするのではなく、一定のルールを設け対応することが必要であると考えます。

睡眠時間がとれないまま乗務を続けることほど安全に支障をきたすことはありません。

今回の乗務員運用手配は、後行路が変更され、一定配慮されているように評価できます。しかし、睡眠時間なしに運転を続けた事にかわりはありません。ぜひ今後にかき、異常時における安全確保を確立するよう強く要請しました。